

上級相当例題  
行政A-1

日本の女性議員比率に関する次の文中の下線部分ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

衆議院で採用されている小選挙区比例代表並立制においては、ア比例代表部分が女性議員の増加に寄与しているが、小選挙区からは女性議員が出にくいとされている。2020年6月現在で衆議院の女性議員比率は9.9%であり、これを下院又は一院制議会で国際比較すると、世界190か国中、イ150位以下であり、OECD諸国では最下位である。

日本の地方議会の女性議員比率は、2019年12月現在で、ウ都道府県議会でも市町村議会でも30%を上回っている。

2018年に施行された「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」は、エ政党に対して公職の候補者の一定数以上を女性とすることを義務付け、これに違反した場合の罰則を規定している。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. ア, エ
4. イ, ウ
5. イ, エ

正答 1